

タイトル：「健（検）診受診率向上キャンペーン～抽選で豪華賞品が当たる～」

投稿者：宮古島市役所 健康増進課 かわひらやすこ 川平康子

宮古地区の働き盛り世代の皆様へ健康情報をお届けするため、毎月1回リレー方式で記事を書いています。今回は宮古島市健康増進課が担当いたします。

今回は健康づくりの話です。第3次健康増進計画健康みやこじま21が令和6年3月に策定され、令和6年度より国が取り組む「健康日本21（第3次）」健康増進計画を基に「より実効性をもつ取組の推進」を重点に置き、2035年までの12年間この計画を推進していきます。基本的な方向性は①介護を必要としない期間（健康寿命）を延ばす②個々が健康づくりや改善に取り組む③健康づくりに資する社会環境の整備④各年代における健康課題の解決・予防的支援です。宮古島市健康増進計画推進会議は年1回開催され、市長を会長とし経済団体、保健・医療・福祉関係団体、教育関係団体、マスコミ、行政分野の推進委員で構成されています。

重点分野として、20代・30代の健診受診率向上の推進、子どもの肥満を減らす取組の推進、子どものむし歯予防の推進の3つの取組を設定しています。20代・30代の基本健診の対象者は約5,500人ですが、受診者数は約300人程度と少ない状況です。若さや自覚症状がないことを過信せず、若い頃からの健診受診で健康チェックを行い、生活習慣の改善及び病院受診などにつなげることが大切です。特定健診対象となる40歳になった時にはすでに生活習慣病が進行し、脳血管疾患や虚血性心疾患等の重症化を起こさないように一人一人の健康意識の向上が必要です。

また、計画では健康長寿をめざすために、食生活・運動・休養・飲酒・喫煙・口腔・がんなどに対する市民のこころがけを示しており、がん検診に関しては「規則正しい生活習慣でがんを予防しよう」「早期発見・早期治療で完治を目指す」ために、2032年度までにがん検診受診率（50%）を目標値としています。しかし、胃・肺・大腸がん検診において、受診率は3%～6%台にとどまっております。

そこで、健康増進課では「宮古島市大腸がん検診推進モデル事業」及び「健（検）診受診率向上キャンペーン」を実施しております。抽選で豪華賞品が当たるキャンペーンの詳細については、チラシをご参照下さい。

特定健診、基本健診は、4月1日～翌年3月31日まで、がん検診は4月1日～翌年2月28日まで受ける事が可能です。健診の詳細については、市ホームページをご確認下さい。定期的に通院している方も年に1回健診を受けて下さい。健診とがん検診をセットで受ける事をおすすめします。ぜひ、ご家族、ご友人、パートナーなど、あなたの大切な方への声かけをお願いします。詳細については、宮古島市健康増進課（73-1978）までお問合せください。

今回は、宮古労働基準監督署へバトンを渡します。

文字数字 1,138 文字 (タイトル含まない)